

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

4- -11

4-  
11

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	地域の「語り部」育成
	節	ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	11 地域の「語り部」育成支援		事業主体	佐渡市社会教育課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	【事業目的】 佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を地域の子どもや来訪者に紹介する「語り部」を育成し、郷土愛の醸成と地域の魅力発信を図る。			
	【事業内容】 島内各地の公民館講座で、「語り部」育成講座を設置し、保育園、学校、宿泊施設等での発表機会を設ける。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 公民館自主講座のなかで、赤泊民謡語り部の会による佐渡金銀山に関する講座約7回実施を計画している。			
	【29年度実績】 公民館自主講座の中で、佐渡金銀山にまつわる取組みは実施できなかった。			
課題・今後の取組	【課題】 赤泊民謡語り部の会は、高齢化、後継者不足等の問題により活動が困難だが、他団体を活用することにより、事業の継続を模索する必要がある。			
	【今後の取組】 他団体の協力を得ながら、佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を地域の子どもや来訪者に紹介する「語り部」の育成を行えるよう努力する。			
事業評価	【事業の達成度】 ( a・b <b>○c</b> )			
	【事業実施の効果】 ( a・b <b>○c</b> )			
	【総合評価】 ( A・B <b>○C</b> )			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。